

銚田市ラーケーションリーフレット

1 ラーケーションとは

子供のラーニング（学び）と保護者のバケーション（休暇）を組み合わせた造語で、平日の保護者の休みにあわせて、授業の代わりとしてお子様と保護者が一緒になって体験活動をしたり、話し合ったりする日のことです。

設定の趣旨

これからの社会では、**自己の在り方や生き方を考えながら、課題を発見し解決していくことのできる力**が求められます。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする**体験的・探究的な活動を通して学んでいくことが有効**です。また、**自己の在り方や生き方を考えるためには、家の人とゆっくりと話をする時間も大切**です。思いや悩み、不安について家族と一緒に考えることで、これまでの生活を振り返り、今後を見つめるよい機会になります。

児童生徒が家の人などと一緒に、そのような時間を取ることができるように設定したのが**年間最大5日間**の「ラーケーション」です。

2 ラーケーションの流れ

1 計画

児童生徒と保護者で、上記の「ラーケーション」設定の趣旨に合った体験活動や話し合い等について、計画を立てます。

2 申請

「銚田市ラーケーション申請カード」に**保護者が必要事項**を記入し、原則**1週間前までに**学校に申請します。学校は申請内容を確認し、カードを返却します。

3 活動

「ラーケーション」の趣旨に合った体験活動や話し合い等を行います。

4 振り返り

児童生徒が自己の変化や成長を実感できるように、家の人と体験活動等を振り返ります。

※ 受けることのできなかつた授業内容に関するサポートについては、欠席や出席停止・忌引き等の場合と同様となります。授業で使用したプリントがある場合は後日お渡ししますので、**家庭で補っていただくよう**お願いします。

※ 定期テストや学校行事の日の取得については申請前に学校に相談ください。

3 どんな活動があるの？（活動例）

- 家族で県内外の歴史あるお城や社寺等を見学し、その地域の歴史や文化について学ぶ
- 家族で博物館等の文化施設を訪れ、地球の歴史や生命の進化、自然の恵み等について学ぶ
- 家族で工場見学を行い、ものが作られるまでの過程やそこに携わる人々の思いについて学ぶ
- 家族で空港を巡り、搭乗を経験しながら、空港で働く多くの職種について調べ、具体的な仕事のイメージをもつ
- 家族と専門学校や大学等を見学し、学校の雰囲気や授業やカリキュラムの詳細を調べ、自分に合った進学先を選ぶための参考にする

※ 学べる場所は身近なところにもあります！

- 無量寿寺に所蔵されている紙本著色拾遺古徳伝絵は国指定の重要文化財です。また巖島神社本殿や無量寿寺鐘楼は県指定の文化財となっています。
- 「とくしゅくの杜」では常設展として、市内で出土した考古遺物や民具などを公開しています。土器や石器など、触れることのできる展示物もあります。また、様々なテーマで企画展を行っています。
- 「みのわ水鳥公園」では双眼鏡で水鳥の観察をしたり、メダカやカニなど水辺の生き物を観察したりすることができます。

4 Q & A

- Q1 「ラーケーション」を利用した場合、学校は欠席になりますか。
A1 欠席にはなりません。教育上特に必要な場合で、校長が出席しなくてもよいと認めた日の「出席停止・忌引き等」となります。
- Q2 「ラーケーション」を連続して取得することはできますか。また、残った日数は、次の年度に繰り越すことはできますか。
A2 「ラーケーション」は、連続して取得することも分散して取得することもできます。限度は年度内5日であり、残った日を次の年度に繰り越すことはできません。
- Q3 保護者等が急遽休みを取れることになった場合、実施の1週間前より後であっても申請することができますか。
A3 できます。ただし、十分に計画した上で体験活動等を行っていただきたいので、可能な限り早めに申請するようお願いいたします。
- Q4 「ラーケーション」でケガなどをした場合、どうなりますか。
A4 学校の管理下での活動ではないため、学校で任意加入している日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度の**対象外**となります。活動の内容等に応じて実施前に家庭で個別に保険に加入することをおすすめします。